

西に博士山、明神ヶ岳などの山々が連なり、中央部には清冽な水をたたえた宮川が流れています。この恵まれた大地を背景に、わが町の農林業は昔から基幹産業として発展してきました。しかしながら、農家数が減少し、高齢化が進む中で、いま新たな対応に迫られています。

農業の生き残り対策として、大規模ほ場への農業基盤整備があげられますが、大規模になるほど法人化への移行が重要になってきて

大地の叙情詩

います。そのためには新しい雇用形態や農業後継者の育成を含めた新規就農者の確保、そ



それぞれの農家に合った就業形態や耕地の荒廃を防止する対策が課題となっています。

新宮川ダムは、会津盆地に広がる四、四〇〇ヘクタールの農地に会津高田町、会津本郷町、新鶴村、会津坂下町の農業用水を安定的に配水するため、平成十一年完成を目標に工事が進められています。



林業においては、森林が生み出す保養・休養機能などの多角的有効活用と自然環境の保全に努めています。また、木材の安定供給のために造林を積極的に進めています。さらに、林業構造改善事業の導入によって、林家経営安定を図るとともに、シイタケ、ゼンマイなどの特用林産物生産の推進を図ります。

